

Q 子ども達の環境整備を A 地域ぐるみで検討する



まこと 議員
柳村 (新志会)



▲子どもの居場所づくり事業で演じた篠木伝承神楽

Q1 学童保育クラブと子どもの居場所づくりの現状と今後の整備は。

A1 学童保育クラブは既存施設の狭あい化と老朽化が問題となっています。今後は現存学校校舎ほか、公共施設の活用など調整を進め、保護者などと協議しながら環境整備を進めます。

子どもの居場所づくりは、現在4カ所で170名の児童が参加登録しています。今後は、未開設の小学校区で、地域ぐるみで展開できるように検討します。

子どもの安全・安心の確保は

Q2 防犯や交通安全での地域と関係機関の連携と対策は。

A2 滝二小学校区では、自治会防犯交通安全部員、民生児童委員、交番の連携で、下校時の街頭活動を行っているほか、保護者に防犯ステッカーを配付し、自主パトロールを行っています。

滝沢小学校区では、自治会防災犯会、民生児童委員、学生ボランティアの連携で登下校時の街頭活動を

行っています。

東小学校区では、保護者、民生児童委員、少年補導員が合同で、街頭活動を行っているほか、自治会が通学路を散歩する方に防犯用ベストの着用をお願いし、子どもの安全に目を向けていただいております。

今後は、関係機関などと情報交換を重ね、今まで以上に連携強化しながら対策を講じていきます。

Q3 小中学校でのコンピュータ整備事業と学校図書館の図書整備の現状と今後の計画は。

A3 16年度に村内すべての小中学校で一人1台整備が完了しました。今後は、古くなった機器から更新し、ソフトも必要に応じて購入します。

図書整備は、16年度の1校あたりの平均冊数と比較すると、県平均を上回っていますが、国の基準での充足率は、小学校約80%、中学校約77%です。教育振興運動で「読書活動の推進」をテーマに取り組んでいますので、今後は、より一層、充足率を高めていきたいと考えます。